



## 千葉県看護協会

### 「令和5年度 看護職定着確保動向調査（再就業者）」結果概要

就職先決定の決め手は「勤務時間」68.0%、「立地（通勤に便利な場所等）」54.0%、  
「看護領域・看護内容・業務内容」50.0%

#### 調査の概要

調査目的	再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する
調査対象	千葉県在住の令和4年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用にて就業した者を除く)
調査時期	令和5年5月26日～令和5年6月9日
調査方法	調査依頼を郵送し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：207名 回答数：50名 回答率：24.2%

#### 調査結果のポイント

##### 1. 回答者の属性

- 居住地は、船橋地区 26.0%、千葉地区 24.0%、松戸地区 14.0%の順に多かった。
- 就職時の年齢層は、「50代」36.0%、「40代」28.0%、「30代」16.0%の順順に多かった。
- 資格は、看護師 90.0%、准看護師 6.0%、同率で保健師、助産師 2.0%の順だった。

##### 2. 就業時の状況

- 就職時の就業状況は、未就業から再就業した者が 37 名 (74.0%)、転職者が 13 名 (26.0%) で、前年度 (52.1%) より再就業者の割合が 21.9 ポイント上昇した。
- 再就業者のブランク期間は、「6ヶ月未満」37.9%が最も多く、「1年未満」35.1%、「1年以上2年未満」13.5%の順であった。
- 再就業した施設で継続して勤務している人は 64.0%で、転職した人は 20.0%、退職した人は 2.0%であった。
- 勤務先の施設種別は、「病院」24.0%、「診療所」18.0%、同率で「福祉系施設」「公的機関」12.0%の順で、病院の割合が前年度 (21.4%) と比較して 2.6 ポイント増加した。
- 雇用形態は、「非常勤職員」66.0%が最も多く、前年度 (48.4%) より 17.6 ポイント増加した。次いで「正社員」22.0%で前年度 (23.7%) より 1.7 ポイント減少した。「派遣職員」4.0%は前年度 (14.4%) より 10.4 ポイント減少した。

○働き続けられる理由は、全体では「通勤時間が自分の生活スタイルに合っている」70.8%、「通勤に便利」39.6%、同率で「同僚との関係がよい」「上司との関係がよい」37.5%の順であった。

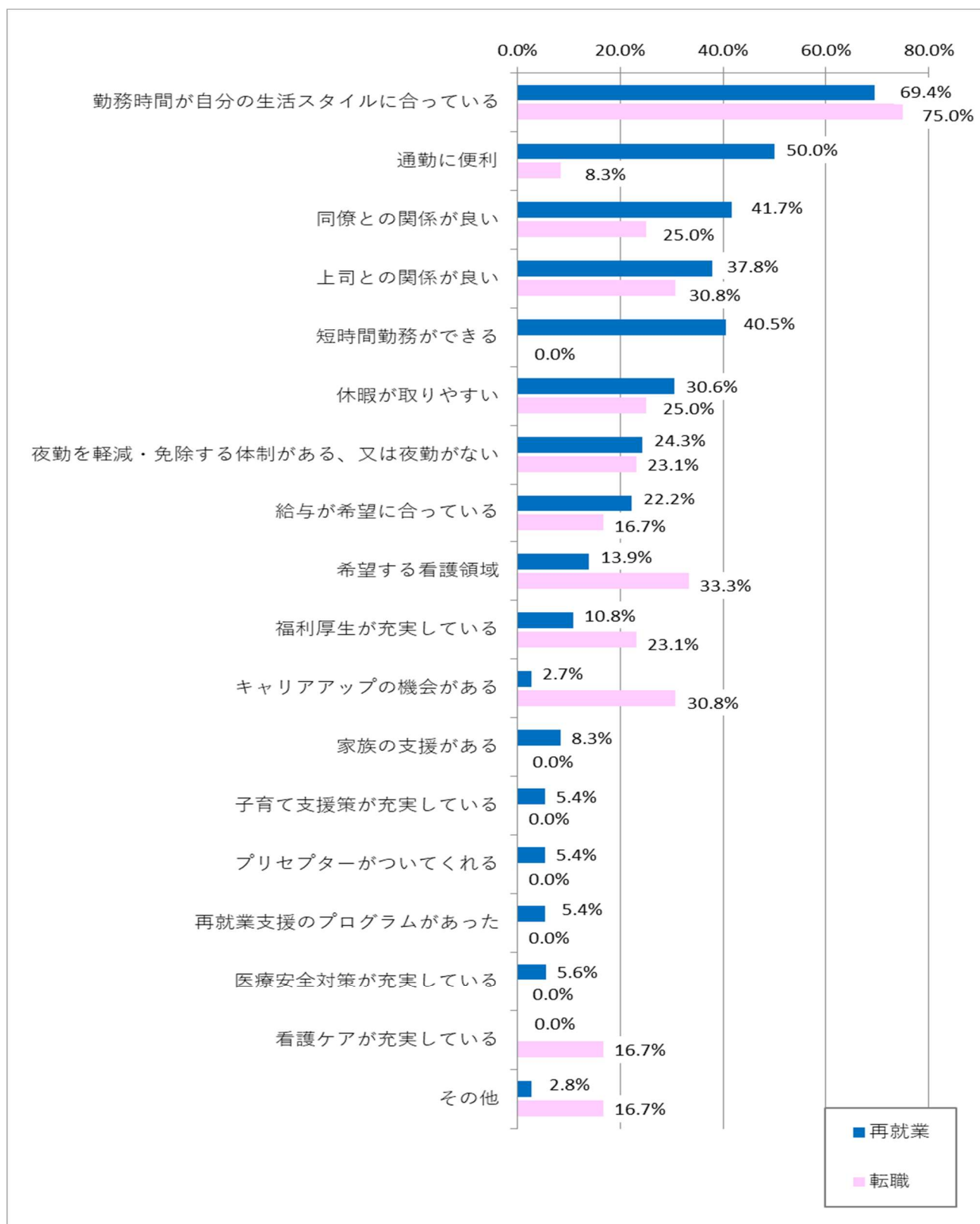


図 1.働き続けられている理由（未就業、転職別）

### 3. 再就業のきっかけ

○再就業のきっかけは、「今までに得た職業経験や技術・資格を活かす」64.0%が最も多く、次いで同率で「経済的な理由から」「社会に出たい」48.0%、「専門的な経験をより高めたい」18.0%の順であった。

### 4. 就職活動で利用した職業紹介所等について

○就職活動で活用した職業紹介所等は、「千葉県ナースセンター」82.0%と最も多く、次いで「公共職業安定所」64.0%、「民間の就職あっせん業者」36.0%であった。

○就職先の決定では、「千葉県ナースセンター」38.0%と最も多く、次いで「自分で調べた」26.0%、「公共職業安定所」22.0%であった。

### 5. 就職先決定の決め手

○就業先決定の決め手は、全体では「勤務時間」68.0%、次いで「立地（通勤に便利な場所等）」54.0%、「看護領域・看護内容・業務内容」50.0%の順に多かった。

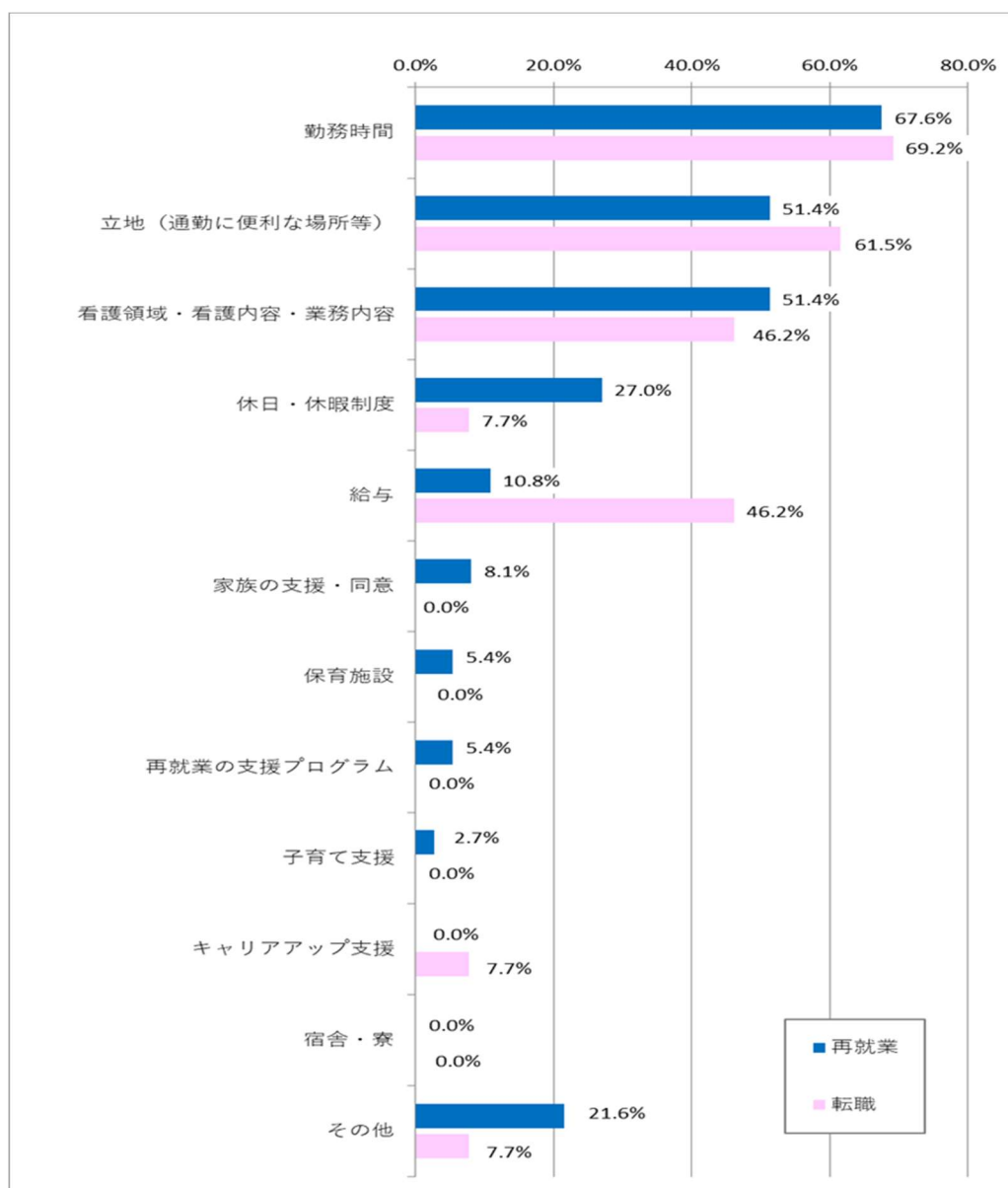


図 2. 就職先決定の決め手（未就業、転職別）

6. 再就業講習会（復職支援セミナー等）について

○再就業講習会（復職支援セミナー等）の受講状況は、「受講した」48.0%、「受講しなかった」52.0%で、「受講した」人の内訳は、再就業者が83.0%、転職が16.7%であった。受講した場所は、「千葉県ナースセンター・看護協会」が100.0%を占めていた。就業後セミナーについて「非常に役立っている」37.5%、「まあまあ役立っている」29.1%であった。

7. ナースセンターから発行されている求人情報の冊子の利用

○ナースセンターから発行している求人情報の冊子について、「利用した」48.0%、「利用しなかった」52.0%で、「利用した」方の内訳は、「求人情報のみ利用した」32.0%、「求人情報及び掲載されている研修情報共に利用した」16.0%であった。